

城西大学水田記念図書館報

図書館ホームページ <http://libopac.josai.ac.jp>
図書館メールアドレス library1@josai.ac.jp
TwitterID @lib_josai

図書館ツイッターのQRコードはこちら→



図書館この一年

2014年度は試験期間中の7月30日に入館者数が近年最高の2,914名を記録し、学習の拠点として図書館が広く認知されていることがうかがえました。図書館には「資料」を提供する側面と「場」を提供する面とがあります。「場」としての図書館は、閲覧席に加えてグループ学習室を利用する学生も多く、「グループワークによって互いに刺激しあって学ぶ」という学習姿勢が増えたことも背景にはあるようです。一方で、6階のグループ学習室は統計でみると少人数での利用が多いこともわかりました。予約多数の場合には互いにシェアする形で運用してきましたが、より利便性を高めるため、試験運用を経て正式にグループ学習室の一部を開放し、グループワークを行いやすく改善しています。また、教育現場でのICT活用事例が増えてきていることもあり、6階のグループ学習室Bには電子黒板を導入しました。電子黒板システムは一部自治体の学校の授業に用いられるなど注目の設備で、講義・プレゼン・学習といった幅広い用途で活用できます。

学習支援に関しては、毎年多くの学生が受講する新入生向け図書館ガイダンスを、館内ツアーを中心とした体験型にシフト。座って学ぶだけではなく、自ら動いて考えることにより、検索から入手までの

手順を具体的に理解できるようにしました。そのほか各種データベースの講習会や就職課と共催で行った就活DVDの上映会など、学生生活を幅広くサポートしています。

もう一つの学習支援の要、学生アドバイザーは今年度8名でスタートし、最終的には11名体制で学生のサポートにあたりました。また、学内での認知度の向上と広報を兼ねて、Twitterの運用も開始。本の感想をしおりの形でシェアする企画「しおりさん」も年間で36種類となり、盛り上がりを見せています。ほかにも、「ライブラリーラウンジ」では教員の課外授業を企画・実行するなど図書館を盛り上げるべく多方面で活動してくれています。

ビブリオバトルも学生アドバイザーが中心となり、地区予選、高麗祭ステージでの開催で大いに盛り上げてくれました。観客数も年々増加し、イベントとして成功を収めました。バトルのレベルも上がり、城西大学として初めて全国大会への出場者が出たことは、特筆に値する出来事です。

図書館は本を借りるための場所ではなく、総合的な「知」の集積場所であり、またそれを扱うための巨大なツールを有しています。これからも「学習のことなら図書館だ」と思えるような図書館を目指していきますので、今後ともご意見、ご要望等お寄せいただければ幸いです。

3月の開館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

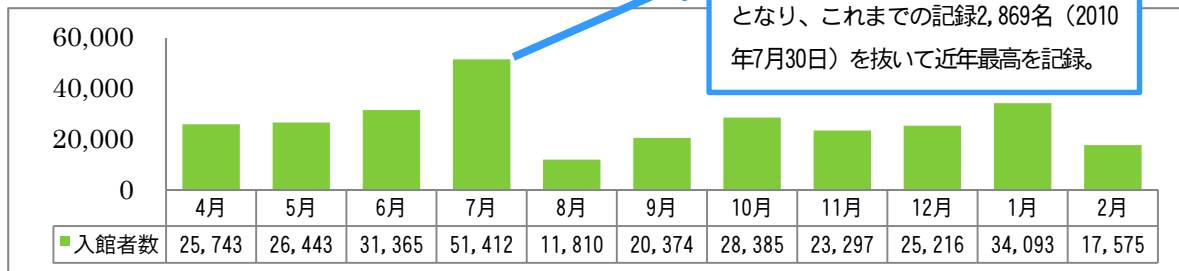
図書館開館時間

- =9:00~21:00
- =9:00~19:00
- =9:00~17:00
- =休館日です

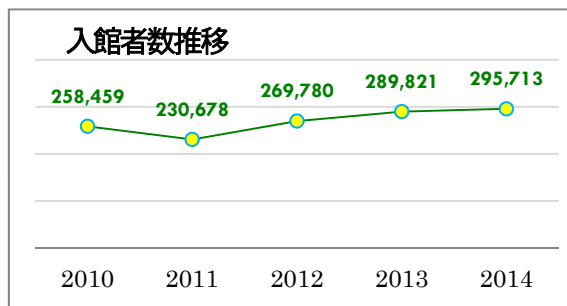


数字で見る図書館の一年

2014年度入館者数



※2015年2月25日現在



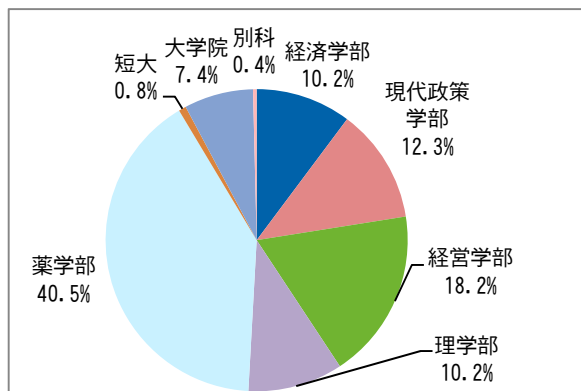
来館者数は全体的に昨年度より増加し、2月25日現在でも昨年の総入館者数を上回っています。とくに試験期間中は、入館者数が過去最高になるほどの賑わいを見せました。図書館は私語厳禁ですが、「会話しながら勉強したい」という声も根強く、現在は通常の閲覧席と会話ができる4・6階を分けて運用しています。このことも、図書館が学習場所として好まれる要因の一つとなっているようです。

貸出統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
貸出冊数	1,755	1,947	2,345	1,907	740	1,051	1,877	1,431	1,503	1,442	628	16,626

※2015年2月25日現在

学部別貸出統計



学部別の貸出傾向を見ると、薬学部の貸出冊数が全体の4割を占めています。文学関係の本が少ないこともあり、貸出資料のほとんどは学部に関連した専門図書となっています。今年度は「もっと学生に読書をしてほしい」という思いから、読書感想文コンテストの開催、出版社の編集者を招いての講演会、学生選書など、本に親しんでもらえるような企画を推進。貸出冊数は昨年比で15%の向上となっています。

TOPICS：教員おすすめ図書コーナー・回転式書架設置

読書推進を目的として9-10月に行われた展示「学生に読んで欲しい教員おすすめ本」が好評だったことを受け、図書館1階に教員推薦図書コーナーを常設しました。さらに、ブラウジングコーナーに回転式書架を新設し、新書の新刊を手に取りやすいように工夫しています。

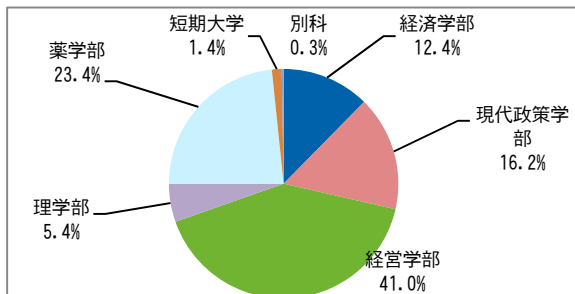


2014 年度ベストリーダー

1. 新有機化学・スタディガイド (29 回)
2. 最新薬理学 (28 回)
3. NEW 薬理学 (27 回)
4. 衛生薬学 (26 回)
4. 基礎有機化学問題集 (26 回)

「新有機化学スタディガイド」は「ソロモンの新有機化学」の解説本だけに、有機化学を学ぶ人にとってはなくてはならない1冊で、予約数も最多でした。1位と僅差の「最新薬理学(第9版)」は、複数の先生がシラバス指定しているため貸出頻度が高い本でした。5位以降も全体的に薬学・化学系の本が上位を連ねています。

ガイダンス



アンケートでは99%の学生が役に立ったと回答。館内ツアーの導入など、「わかりやすく、実感できるガイダンス」を目指しています。このほか、各種データベースの講習会を7回実施しています。授業数では96コマ、参加人数にして述べ2,254人の参加がありました。

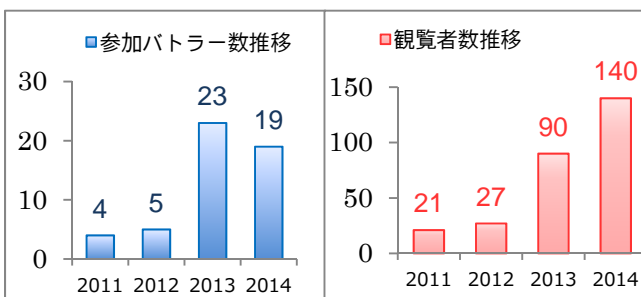
ライブラリーラウンジ

教員や地域アドバイザーを講師に招いてトークする「ライブラリーラウンジ」を12月の2週にわたって開催、合計で33名の学生が参加しました。各回とも普通の講義とは一味違った内容で、講師との交流を楽しみながら学ぶことができました。今後も様々なテーマで企画し、講師をお呼びして開催することを予定しています。



ビブリオバトル

毎年開催している書評合戦「ビブリオバトル」の学内予選は、19名のバトル参加。観覧者も昨年と比較して1.5倍の増加となりました。高麗祭での学内チャンプ決定戦でも62名が観覧し、図書館のイベントとして高い認知度を得ました。地区予選を勝ち抜いた経営学部3年の鈴木さんは京都大学で開催の全国大会へ出場し、大健闘しました。



就活支援上映会

就職課と共催し、就職支援の一環として6~12月に渡り、就職活動に役立つDVDを上映しました。就職課職員からのアドバイスもあり、幅広い学年・学部の学生が参加。このほか、就活に使えるデータベースの講習会や実際に就活を体験した学生アドバイザーによるミニ講座なども行い、就職活動を支援しています。

上映会参加人数

6月	8月	10月	11月	12月	合計
97名	27名	41名	98名	111名	374名

父母後援会雑誌が変わります！

昨年末にアンケートを行った、父母後援会寄贈の雑誌の新規購入タイトルが決定しました。勉強の息抜きに、ブラウジングコーナーの雑誌を手にとってみてはいかがでしょうか。

「mer」
着まわしスナップで
なりたい自分研究

「陸上競技マガジン」
希望者多数！
駅伝部・陸上部の活躍を
チェック

新規購入タイトル
Newsweek 英語版
ロケーションジャパン
mer(メル)
小説トリッパー
歴史人
映画芸術
きょうの料理ビギナーズ
陸上競技マガジン

「ロケーションジャパン」
あの作品のロケ地を
巡る旅に出よう

「きょうの料理」
待望の料理ジャンルが
追加

以下のタイトルは購入中止となりました。

購入中止タイトル	週刊金曜日	OZ TRIP	an an
papyrus	歴史街道	SCREEN	別冊太陽

<新刊紹介>

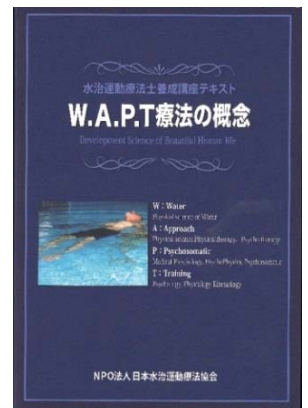
水治運動療法士養成講座テキスト W.A.P.T.療法の概念

水野加寿（城西大学水泳部監督） 渋井二三男（城西短期大学）執筆 （NPO法人水治運動療法協会、2014年11月発行）
開架図書3階 492.54/W37

本書は、NPO 法人日本水治運動療法協会の認定資格「水治運動療法士」の資格取得をめざし、各都道府県にある健康増進施設、プールリハビリ施設等で水治運動療法士指導員として、健常者はもちろんのこと、障害者・高齢者にたいする健康増進運動の一翼を担っていただくことを目的としたテキストです。

水治運動療法（W.A.P.T.療法）のビジネスモデルとして、総合的な健康管理と治療ケアが必要な高齢者及び障害者に対する福祉健康ネットワークの構築を基軸とし、受けられる福祉サービスプログラムを提供。また、受けている福祉サービスプログラムのパーソナルレコードのデータ化を行い、提供と報告のシステム化による「グローバルフィードバックシステム」の構築を目指しています。

本書で紹介されている坂戸市・城西大学共同プロジェクト「健康づくり水の中リハビリ運動教室」は、約6年前より坂戸市からの要請を受けて開設しています。



図書館彙報

資料の返却忘れていませんか？

卒業見込生の返却日は3月6日までです。
延滞資料を持っている場合は至急返却してください。
返却は郵送でも受け付けています。

2月の出来事

- 2月7日 学生アドバイザーと地域アドバイザーの交流会を開催しました。
- 2月23日 電子リソース合同説明会を開催しました。